

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.2.15 No. 127 連絡先 FAX 042-555-1911



## 横田基地へF/A-18戦闘攻撃機が11機、EA-6B電子戦機が3機などが飛来



1月31日、米海軍厚木基地の滑走路に穴があいたからと、厚木基地のF/A-18Eが11機、EA-6Bが3機、C-40Aが2機、横田基地に飛来しました。

左の写真はF/A-18E戦闘攻撃機です。

横田への戦闘機や攻撃機の飛来が増えています。

## 厚木基地近くの県道に 米空母艦載機EA-6B電子戦機 部品を落下



左の写真は2月1日、横田基地を離陸するEA-6Bです。これと同機種の飛行機が2月8日、厚木基地近くの県道に、ジュラルミン製のパネル6個を落下させました。部品の一部は走行中の自動車に落下しキズを付けました。人に被害はありませんでした。

落下部品は大きいので縦2メートル18センチ、横1メートル7センチもありました。これが人に直撃したら大変でした。さらに10日午前には、基地近くの畑で落下物とみられる金属片5枚が新たに見つかり、米軍が回収しました。また機体の断熱材とみられる素材も多数散乱していました。原因は鳥を吸い込んでエンジンが破損した「バード・ストライク」だったそうです。何処にも鳥はいるわけで、人口密集地での飛行が危険なことをまざまざと見せつけました。

神奈川平和委員会は、EA-6Bからの部品落下事故に抗議し、空母艦載機の飛行中止を、米海軍第5空母航空団司令官に、求めました。(上2枚の写真：横田基地撤去の会HP内のブログより)



## 国道近くのキャンプ・キンザーで米兵が銃構え訓練 -沖縄-

2月13日午後、バスや自動車の通行が多い沖縄の国道58号線沿いのキャンプ・キンザー内で米兵約40名が銃構え訓練をしているのが目撃されました。場所は浦添市で住宅も近くにあり。実弾が入っていたかは不明。

## 2月21日～24日 横田基地で運用即応演習(ORE)

### 横田基地2012年これからの演習計画

- 1 演習日時：平成24年2月21日(火)から2月24日(金)、24時間態勢
- 2 演習に伴う航空機の運用予定：午後10時から翌朝午前6時の「静かな時間帯」における運用も含め、予定はなし。
- 3 PAS, GBS及び煙幕等の使用予定：現時点においては、いずれも使用の定はないが、今後変更等の可能性はある。
- 4 特記事項：横田防衛事務所から米軍に対し、日米合同委員会合意の遵守に努め実施するよう口頭で申し入れた。

- ・2月21日から24日 ORE (運用即応演習)
- ・3月14日 EME (緊急管理演習)
- ・3月24日から30日 ORE (運用即応演習)
- ・4月25日 EME (緊急管理演習)
- ・7月16日から20日 ORE (運用即応演習)
- ・9月10日から14日 ORE (運用即応演習)
- ・11月5日から9日 ORE (運用即応演習)

※ ORE (運用即応演習)：仮想戦闘環境における基地の機能テストを行う。具体的には、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応体制をとることを目的とした演習。

※ EME (緊急管理演習)：大地震、航空機事故、バスと航空機の衝突事故及び踏切における電車とバスの衝突など様々な状況を想定した重大事故における対応訓練。

## 「ヤマサクラ61」を検証し実態を知らせ、中止させていこう (No. 127 の裏面)



左はヤマサクラ 61 の開会式 (米陸軍 HP) の写真です。記事は、「1982 年以来、山桜は、二国間の計画、調整及び訓練を通じて相互運用性の分野における自衛隊と米軍の太平洋の努力の開発と改良に注力してきました。」などと述べています。横田基地に 105 機もの攻撃機や戦闘機は来なかったようですが、横田を出撃基地にする計画はあったわけです。ヤマサクラ 61 を検証し演習を中止させていきましょう。

### 米国防費、5年間で20兆円削減へ F35戦闘機調達も一部先送り

パネッタ米国防長官は1月26日、国防総省内で記者会見し、2013会計年度(2012年10月～2013年9月)から5年間で計約2600億ドル(約20兆円)の国防予算を削減する方針を発表。航空自衛隊の次期主力戦闘機に決定しているステルス戦闘機F35についても、今後5年間に調達を予定していた179機を先送りする方針。その結果、200億ドル以上の経費削減が見込まれるといます。

米軍は陸軍8万人と海兵隊2万人の10万人削減する一方で、在日米軍、在韓米軍の兵力は維持し、オバマ政権の「アジア太平洋重視」の方針を鮮明にしています。

### 政府はF35戦闘機の採用撤回を！ 購入費用は東日本大震災の復興にまわせ！



オーストラリアのスミス国防相は30日、アメリカのF35の調達一部先送りを受け、自国のF35調達スケジュールを一部見直すと発表。2015年から3年間で調達する予定のF35戦闘機12機について購入価格が高騰する可能性があり、再検討するとなりました。

日本政府は、航空自衛隊のF4戦闘機の後継機として、最新鋭ステルスF35戦闘機を決定しています。防衛省は次期主力戦闘機に求める性能として「十分な巡航ミサイル対処能力」とともに、「制空戦闘

F35A 戦闘機(米国防総省 HP)

能力に加え、少なくとも空対地攻撃能力を備えた多機能機」として

います。主力戦闘機の主任務である「防空」を踏み越えて「敵基地攻撃」まで想定しています。これは「憲法に触れる」最新鋭戦闘機の採用といえます。米軍は「長距離攻撃能力を拡大する」ことを重視しており、自衛隊を地球的規模の戦争に動員することを狙っています。怖いことです。

F35は2012年度予算ベースで1機あたり1機99億円。2012年度予算に4機分盛り込みます。訓練シュミレーター調達費など205億円を加えると600億円にのぼります。最終的に42機を導入する方針です。F35の採用は財政を圧迫し、軍拡競争を激化させる最悪の道です。

政府はF35の採用を撤回し、購入費用は東日本大震災の復興と国民生活にまわすべきです。

### 基地の県内移設・普天間基地の固定化反対が、オール宜野湾市民の声に

2月12日、投開票された宜野湾市長選挙で、普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設反対を掲げる伊波洋一氏は21,712票を獲得しましたが、自公が推薦する佐喜真淳氏に900票の僅差で惜敗しました。伊波氏が開票結果判明後、謝意を述べ「これをもって宜野湾市民が県内移設を容認したとは言えない。これからも、みなさんとともに基地問題解決にがんばっていきたい」と語りました。自公推薦の佐喜真淳氏に「県外移設」「普天間基地の固定化反対」を公約とさせたのですから、伊波さんの語った通りです。1972年5月15日、沖縄は施政権返還されました。が、たくさんの米軍基地は返還されませんでした。「米軍基地を撤去せよ！」を広げましょう！